

施策番号	2702		
施策名	環境負荷の少ない水道・下水道の構築		
概要	琵琶湖・淀川水系における水循環の一翼を担う都市として、下水道の整備を推進し、市内河川と下流水域の水質の向上を図る。また、上下水道事業全般において、一層の省エネルギー対策や資源の有効利用に努める。		
担当局・部室	上下水道局・技術監理室、下水道部	共管局・部室	
上位政策	27 くらしの水		
施策に関係する 主な分野別計画等	京（みやこ）の水ビジョン-あすをつくる- 京都市上下水道事業中期経営プラン(2018-2022)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	合流式下水道改善率(%)	a	e	63.1	66.2	66.2	100.0%	a	1.00
2	事業活動に伴う温室効果ガスの排出量削減率(%)	-	-	19.3	24.0	19.3	124.4%	a	1.00
3									
4									
5									
6									
		a	c	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。	b	a	193	307	149	41	22	712
				27.1%	43.1%	20.9%	5.8%	3.1%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	a	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	a	
	(重み付けの理由) 上下水道サービスを支えている浄水場や管路などの上下水道施設は、普段市民の皆様を意識されにくく、その整備の成果がすぐに市民実感につながりにくいものであるため					平成30年度
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。					平成29年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	水道事業	56,299,895	65,574,000	－	上下水道局
2	公共下水道事業	97,746,714	93,704,000	－	上下水道局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都市上下水道事業中期経営プラン（2018－2022）に基づき、高度処理や適切な水質管理により下水処理水質の維持・向上を図るとともに、貯留管等の整備による合流式下水道の改善を推進する。また、太陽光発電等による創エネルギー対策や高効率機器の導入などを実施し、温室効果ガス排出量の削減を図る。

施策名	2702	環境負荷の少ない水道・下水道の構築				
指標名	合流式下水道改善率（％）					
担当課	計画課		連絡先	6 7 2－7 8 3 9		
1 指標の説明						
合流式区域面積に対する合流式下水道改善済面積の割合（汚水と雨水を同じ管路で排除する合流式下水道において、降雨時に河川へ流出する未処理下水やごみ等を削減する改善対策を実施し、良好な水質や景観を守る取組を推進している。）						
2 指標の意味						
雨の日に河川へ未処理下水やごみ等が流出するのを防ぐ下水道整備の状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			算出方法：合流式下水道改善済面積÷合流式区域面積×100			
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	63.1	66.2	3.1ポイント増	66.2	上下水道局運営方針	100.0%
	全国順位	中長期目標			備考	「6 基準説明」における評価の計算は以下のとおり 改善度（平成30年度） 100.0＝（（66.2－63.1） ／（66.2－63.1））×100
		数値	目標年次	達成度		
数値	96	令和4年度	9.4%	京都市上下水道事業 中期経営プラン（2018-2022）※達成度は改善度を記載＝（最新数値-平成29年度数値（63.1））／（中長期目標数値-平成29年度数値（63.1））		
5 評価基準						
最新数値と目標値を比較して a：目標値以上 b：目標値未満で改善度80%以上100%未満 c：目標値未満で改善度50%以上80%未満 d：目標値未満で改善度50%未満 e：現状維持			6 基準説明			
			目標値達成を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。 ※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100			
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
a	e	a				

指標名	事業活動に伴う温室効果ガスの排出量削減率（％）					
担当課	監理課		連絡先	6 7 2－7 7 4 4		
1 指標の説明						
上下水道事業における温室効果ガス排出量の削減割合（上下水道局では、環境マネジメントシステム（EMS）の運用、太陽光発電、小水力発電等による創エネルギーの取組や、高効率機器の導入、運転管理の効率化等による省エネルギーの取組を継続して実施し、地球環境に配慮した事業運営に努めている。）						
2 指標の意味						
温室効果ガス排出量の削減に向けた取組状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	19.3	24.0	4.7ポイント増	19.3	上下水道局運営方針 「京都市役所CO2削減率先実行計画」に基づいて算定した2004（平成16）年度比の削減率	124.4%
	全国順位	中長期目標			備考	・中期経営プラン改定に伴い指標名及び目標値を変更
		数値	目標年次	達成度		
数値	25.0	令和4年度	96%	京都市上下水道事業 中期経営プラン（2018-2022）（最新数値／中長期目標数値）		
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：50%以上80%未満 d：30%以上50%未満 e：30%未満			6 基準説明			
			目標値を上回る可能性もあるため、単年度目標に対する達成度が100%以上をaとし、以下5段階に基準を設定した。			
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
-	-	a				